

(4) 様式第4号 - 2 (報告書)

文字の大きさは Meiryō UI / 12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。
必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS カフェ報告書	実施機関名・連携機関名 福島大学教職大学院、福島県教育委員会、福島県教育センター、福島県特別支援教育センター
機構記入欄 : -	セミナー名：[NITS カフェ in 福島] 学びのリフレクション 福島県の新たな教育実践へ
テーマ： 新たな教職への自覚と責任感の育成すること、 福島県の教育施策と関連づけて各自の研究成果を振り返ること、さらに、 校種等をこえた学びのリフレクションを行うことにより、同僚性を高めることなどを視点とした。	
内容： 話題提供（講演）では、全国の教育実践における子どもの表情（写真）を提示しながら、子どもが持っている内なる力を引き出し、称賛したり意味づけたりすることが教師の仕事であり、「子どもの夢を叶える応援団」として、「子どもがつまづかないような授業」ではなく、「意図的につまづかせて、乗り越えさせていく授業」の大切さと共に、「授業改善」の視点として、全国学力調査に基づく福島県の強みと弱み、福島県の授業スタンダードに目を向けることの必要性を話された。	
成果： 参加者からは、福島県の教育動向、全国の教育実践の事例、などの知見を広げることができたこと、子どもの力を信じ、伸ばす視点の重要性など、参加者自身の授業を振り返る機会になったこと、教師としての自覚・意識を高める必要性などが感想として寄せられた。カフェについては、同じ悩みを持つ同士、校種を超えた意見交換が活発になされ、時間が足りなかったとの意見も寄せられた。	
アイデアや工夫したこと： 福島県の施策と授業改善を結びつける話題提供（講演）、講演内容とその後のワールド・カフェを連動させたこと、 NITS カフェとして、NITS の研修資料を活用し、ワールドカフェの楽しさと効果を参加者に実践的に伝えたこと、 コーヒーブレイク時に、コーヒーを提供することで、意見交流が活発になるようにしたこと、 校種（小、中、高、特別支援）や立場（現職とストレートマスター）が多様なグループ形成をしたことである。	

<写真・図など>



子どもってすごいな。
一生懸命考え、感じ、思い、願っているんだな。
子どもがもっている内なる力を、
引き出し、称賞したり価値付けたりしながら、子どもの心に意味付けていくこと！

資質・能力育成への授業改善の根底にあるもの。 【高度な授業力が必要】

福島の子どものために、
日本の子どものために！

明日の子供の...笑顔のため、子どもたちが自分の輝き方を見つけるため！

「未曽有の災害があっても、学力は再生・向上できる」そのための授業の在り方や児童生徒との関わり方といった教育活動も、全国に評価を示すことができるのは福島の強みであり、またそれは、日本に希望を与えることにもなるのではないだろうか。

ポケベルから携帯電話へ。最近では、AIが、空飛ぶ車まで。情報化やグローバル化といった社会的変化が私たち人間の予測をはるかに超えて進展しています。授業則が通用しない時代。だからこそ、子どもたちと共に学びたい！

【新たな教職への自覚と強い責任感が必要】



メンダクニヤマト...		
	これからの 授業改善 自らの研究成果と 評価を踏まえて	

3R 気付きや発見の統合

○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○	○○○○○ ○○○○○ ○○○○○	活用・探究の 場面を位置づ ける
○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○	これからの 授業改善 一歩自らの研究成果 と評価を踏まえて	育成をめざす 資質・能力を 明らかにする
○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○	○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○	○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○

